

センチウから根をしっかりとガード

ガードホープ[®] 液剤



センチウ被害を受けた地上部



根部の被害状況



ネコブセンチウ

特長

果菜類の生育途中に処理の可能なセンチュウ剤です。

- センチュウの被害を受けやすい長期栽培作型果菜類に好適です。
- 栽培後半のセンチュウ防除に使用できます。

かんしょ、ばれいしょには植付前処理で防除できます。

茶・きくのセンチュウ被害拡大を、生育期処理によって防ぎます。

適用害虫と使用方法

使用前にはラベルをよく読んで、正しくご使用ください。

| 作物名 | 適用害虫名 | 希釈倍数 | 使用液量 | 使用時期 | 本剤の使用回数 | 使用方法 | ホスチアゼートを含む農薬の総使用回数 |
|----------------------|--------------------------------|--------|-------------------|--------------------|---------|-----------------|---------------------------------------------------------|
| トマト ミニトマト | ネコブセンチュウ トマトサビダニ | 4,000倍 | 2ℓ/m ² | 収穫前日まで | 1回 | 土壌灌注 | 2回以内 (定植前の土壌混和は1回以内、 土壌灌注は1回以内) |
| すいか | ネコブセンチュウ | | | 収穫14日前まで | | | |
| メロン | | | | 収穫28日前まで | | | |
| にがうり | | | | 生育期 但し 収穫14日前まで | | | |
| にんにく | イモグサレセンチュウ | 3,000倍 | — | 植付前 | 1回 | 30分～2時間 球根浸漬 | 3回以内 (植付前の土壌混和は1回以内、 球根浸漬は1回以内、 土壌灌注は1回以内) |
| | チューリップサビダニ | 500倍 | | | | | |
| しょうが | ネコブセンチュウ | 1,000倍 | 2ℓ/m ² | 収穫3日前まで | 2回以内 | 土壌灌注 | 2回以内 (植付前の土壌混和は1回以内、 土壌灌注は1回以内) |
| | | 4,000倍 | | | | | |
| みょうが(花穂) みょうが(茎葉) | ネコブセンチュウ | 500倍 | — | 定植前 | 1回 | 30分間 種根茎浸漬 | 2回以内 (種根茎浸漬は1回以内、 定植前の土壌混和は1回以内) |
| かんしょ | ネコブセンチュウ | 100倍 | 100ℓ/10a | 植付前 | 1回 | 全面散布 土壌混和 | 2回以内 (苗床は1回以内、 本圃は1回以内) |
| ばれいしょ | ジャガイモシストセンチュウ | — | — | — | — | — | 1回 |
| 茶(幼木) | ネコブセンチュウ | 2,000倍 | 2ℓ/m ² | 生育期 但し 摘採1年半前まで | 2回以内 | 土壌灌注 | 2回以内 |
| きく | ネグサレセンチュウ ハガレセンチュウ ナミハダニ | 3,000倍 | | 生育期 | 1回 | 10分間 根鉢浸漬 | 3回以内 (定植前の土壌混和は1回以内、 生育期の根鉢浸漬は1回以内、 土壌灌注は1回以内) |
| ぼたん | ネコブセンチュウ | 2,000倍 | — | — | 1回 | 土壌灌注 | 3回以内 (定植前の土壌混和は1回以内、 生育期の根鉢浸漬は1回以内、 土壌灌注は1回以内) |
| | | 3,000倍 | 2ℓ/m ² | | | | |

上手な使い方(生育期処理)

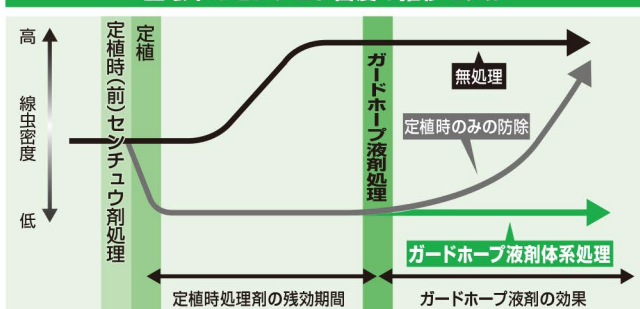
1.しっかり灌水しましょう。

作土層(地下15cm程度)までしっかり薬液を到達させるには、20ℓ/m²の灌注が目安と考えられます。薬液灌注後(2ℓ/m²)、十分灌水してください。

2.センチュウ被害が確認される前に灌注しましょう。

生育処理での防除が出来る薬剤ですが、根部に着生したネコブは回復しません。土壌中のセンチュウ密度が上昇し始める時期に使用してください。(定植時のセンチュウ剤の残効が切れる直前に使用してください)。

土壌中のセンチュウ密度の推移モデル



⚠ 使用上の注意



医薬用外劇物につき、取扱いには十分注意してください。

- 生育期に使用する場合
 - ①所定量を1m²当り2ℓの割合で、ジョウロなどを用いて均一に畝全面に土壌灌注してください。
 - ②処理後、根系への薬剤の移動を促すため、できるだけ早い時期に1m²当り5～20ℓの水を灌注してください。
- かんしょのネコブセンチュウまたはばれいしょのジャガイモシストセンチュウに使用する場合は、植付前に所定の薬量を均一に散布し、土壌と十分混和してください。
- 処理時に既にネコブが着生している根は回復しないので、被害の初期に使用してください。
- メロンでは、処理時の展開葉に軽微な薬害を生じることがありますが、生育に影響はありません。
- 茶芽を収穫する茶樹成木には使用しないでください。また、未収穫茶樹幼木に使用する場合は、翌年には摘採しないでください。
- ぼたんに使用する場合、特に浸漬処理時においては葉に薬害を生じることがありますが、その後の生育には特に影響はありません。
- 蚕に対して、長期間毒性があるので、桑園に飛散しないように注意してください。
- ミツバチに対して影響があるので、ミツバチの巣箱及びその周辺にはかからないようにしてください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。

●使用前にラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。★空容器は置場などに放置せず、3回以上水洗し適切に処理してください。洗浄水はタンクに入れてください。

本印刷物は、令和2年7月時点での知見に基づいて作成しています。